

成人看護学援助技術	3年・後期	1単位 30時間	講師 千木良悦子 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310693

### 1. 授業のねらい・概要

本科目は、臨床で実践することの多い看護援助技術を習得するための演習が中心に構成されている。この科目を受講することで学生が健康障害および機能障害を持つ成人患者への看護実践に必要な看護援助技術や看護機器の取り扱いについて理解を深め、看護実践力を高めることを目的とする。

### 2. 学修の到達目標

1. 患者の疾患に応じた問診およびフィジカルアセスメントの項目を抽出し実施できる。(D-2)
2. 患者の疾患および個別性に応じた、清潔ケアを組み立て・実施できる。(D-2)
3. 糖尿病患者の看護に必要な技術(血糖測定・インスリン自己注射)を確認し、その指導内容について組み立て実施できる。(D-2)
4. 成人看護学で必要な看護技術(ストーマケア, 胸腔ドレナージ, ドレーン・点滴のテープ固定, 弾性包帯装着, 創傷処置, 等)の方法を確認し実践できる。(D-2)
5. 患者にとって適切な環境とは何かを考え、正しく観察することができる。(D-2)
6. 生体情報モニターの役割や使用法を説明できる。(D-2)
7. 実習に必要な記録物の書き方について確認し、事例に沿って記述できる。(D-2)

### 3. 授業の進め方

演習を中心に進める。

#### 【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして体験学習, ロールプレイ, グループワーク, 等を用いる。

#### 【ICT活用の有無】

ICT活用の実施: Google Classroom, Gmail 等による学習課題の提示・解説。

### 4. 授業計画(講義・演習)

回	授業内容	授業形態	事前事後学修(学修課題)	担当
1	本科目の学習内容について 実習における報告の仕方 演習①②の事例患者のアセスメント項目と演習内容の組立	講義 演習	予習: フィジカルアセスメントの項目をテキストで確認しておく。 復習: 事例のアセスメントに必要な項目を整理する。	千木良悦子 石井みゆき
2	演習①: 脳疾患患者の問診, フィジカルアセスメント	演習	予習: 事前配布資料の事例患者に必要な観察項目を考え記入してくる。 復習: 演習を振り返り自己の課題を明らかにする。	千木良 石井
3	演習②: COPD患者の問診, フィジカルアセスメント	演習	予習: 事前配布資料の事例患者に必要な観察項目を考え記入してくる。 復習: 演習を振り返り自己の課題を明らかにする。	千木良 石井
4	演習③④⑤⑥の事例患者の演習内容の組立	講義 演習	予習: 床上安静で点滴を装着している患者及び片麻痺患者の清潔援助方法について調べる。	千木良 石井

			復習：提示された事例患者の個別性に 応じた清潔援助の組立を組み立てる。	
5	演習③：点滴を挿入されている 床上安静患者への清拭と寝衣交 換	演習	予習：実践を想定し組み立てた清潔援 助をシュミレーションする。 復習：演習を振り返り清拭援助に関する 自己の課題を明らかにする。	千木良 石井
6	演習④：片麻痺患者への足浴	演習	予習：実践を想定し組み立てた清潔援 助をシュミレーションする。 復習：演習を振り返り清拭援助に関する 自己の課題を明らかにする。	千木良 石井
7	演習⑤⑥の事例患者の演習内容 の組立	講義 演習	予習：自己血糖測定(SMBG)およびイ ンスリン自己注射の手技について調べ る。 復習：SMBG およびインスリン自己注 射患者への指導方法を組み立てる。	千木良 石井
8	演習⑤：糖尿病患者への自己血 糖測定(SMBG)指導	演習	予習：実践を想定し組み立てた指導方 法をシュミレーションする。 復習：演習を振り返り糖尿病患者への指 導に関する自己の課題を明らかにする。	千木良 石井
9	演習⑥：糖尿病患者へのインス リン自己注射指導	演習	予習：実践を想定し組み立てた指導方 法をシュミレーションする。 復習：演習を振り返り糖尿病患者への指 導に関する自己の課題を明らかにする。	千木良 石井
10	演習⑦：患者環境 生体情報モ ニター	演習	予習：テキスト 3)4)の安全確保の技 術、環境調整技術、酸素療法、点滴静 脈内注射、生体情報のモニタリングを 読み、忘れていたことを調べる。 復習：演習で正解できなかった要点を まとめる。	千木良 石井
11	演習⑧：ドレーン、点滴のテー プ固定、弾性包帯装着、創傷処 置	演習	予習：ドレーン、点滴のテープ固 定、弾性包帯装着、創傷処置の手技に ついて調べる。 復習：演習で実施した手技に関して自 己の課題を明らかにする。	千木良 石井
12	実習に必要な記録物の書き方① 患者概要・行動計画・関連図 演習⑨⑩⑪演習内容の組立	講義 演習	予習：実習に必要な記録物（患者概 要・行動計画・関連図）の書き方を確 認する 復習：実習に必要な記録物の書き方に ついて整理する。	千木良 石井
13	演習⑨：胸腔ドレナージ ⑩：ストーマケア	演習	予習：テキスト 1) [2]胸腔ドレナージ (P124～128) [5]ストーマケア (P282～283)を読み、わからない言 葉を調べる。 復習：授業で配布する練習問題を解 き、間違えた問題の要点をまとめる。	千木良 石井
14	演習⑪：シャボンラッピング	演習	予習：足浴・手浴の目的について確認 する。 復習：演習で実施した手技に関して自 己の課題を明らかにする。	本吉
15	実習に必要な記録物の書き方② 看護計画・実施評価修正・看護 要約 演習⑨⑩⑪の振り返り	演習	予習：実習に必要な記録物（看護計 画・実施評価修正・患者概要）の書き 方を確認する 復習：演習全体を振り返り自己の課題 を明らかにする。	千木良 石井

## 5. 成績評価の方法・基準

定期試験 50%，課題レポート 50%で総合的に評価する。

演習科目なので4/5以上の出席がない場合評価対象外となる。

合格基準（60％）に満たない場合には、単位認定できない。評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲と出題方法は事前に口頭で提示する。

各演習のレポート（ワークシート）提出は指導教員の指示に従い期日を厳守すること。

レポート提出が指定の期日に遅れた場合は50％減点となる（1週間以上遅れた場合は0点とする）。

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：

- 1) 山下香枝子他編著（2024）系統看護学講座専門Ⅱ成人看護学[2]呼吸器 第16版 医学書院
- 2) 吉田俊子 他（2024）系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[3]循環器 第16版 医学書院
- 3) 南川雅子 他（2024）系統看護学講座 専門分野 成人看護学[5]消化器 第16版 医学書院
- 4) 吉岡成人 他（2024）系統看護学講座 専門分野 成人看護学[6]内分泌・代謝 第16版 医学書院
- 5) 井出隆文 他（2024）系統看護学講座 専門分野 成人看護学[7] 脳・神経 第16版 医学書院
- 6) 竹尾恵子監修（2019）看護技術プラクティス第4版 Gakken
- 7) 有田清子（2023）系統看護学講座基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ 第19版 医学書院
- 8) 有田清子（2021）系統看護学講座基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第18版 医学書院

## 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲および事前事後学修（学修課題）について、最低45分の予習および復習を行うこと。

## 8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻、欠席および授業中の私語、授業中に授業に関連する作業以外の行動は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

慢性期成人看護学実習の先修科目である。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

レポートの講評は講義内に提示する。

試験の結果と解答は終了後、Google Classroom, Gmail等を用いて解説する。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

## 11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義・演習を行う。